※令和４年度以降入学生用

学校番号	1001

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「最新政治・経済」　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

社会的事象等を政治、法、経済などに関わる多様な視点（概念や理論など）に着目して捉え、よりよい社会の構築に向けて、課題解決のための選択・判断に資する概念や理論などと関連付けられるように学習していきましょう。

2　学習の到達目標

(1) 社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
(2) 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。
(3) よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現代の諸課題について、事実を基に、政治・経済に関する概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、政治・経済に関する現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	現代国家と民主政治	民主政治と法 民主政治の基本原理 民主政治のしくみと課題 世界の主な政治制度	a: 政治と法の意義と機能について理解している。 b: 民主政治の本質に着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:「現代国家と民主政治」について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート 振り返りシート
	日本国憲法と基本的人権	日本国憲法の成立 日本国憲法の基本原理 自由に生きる権利 平等に生きる権利 社会権・参政権・請求権 新しい人権 人権の広がりと公共の福祉 平和主義と自衛隊 安全保障体制の変化 21世紀の平和主義	a:基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係について理解している。 b: 日本国憲法と現代政治の在り方との関連に着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:「日本国憲法と基本的人権」について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート 振り返りシート
	日本の政治制度と政治参加	政治機構と国会 内閣と行政機能の拡大 公正な裁判の保障 地方自治と住民福祉 政党政治 選挙制度 世論と政治参加	a:議会制民主主義、司法制度、地方自治、選挙制度などについて理解している。 b: 政党政治や選挙などの観点から、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方に着目して、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 c:「日本の政治制度と政治参加」について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	現代の経済社会	経済活動の意義 経済社会の変容 経済主体と市場の働き 企業の役割 国民所得 経済成長と国民の福祉 金融の役割 財政の役割	a: 経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みについて理解している。 b: 経済活動と福祉の向上、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通した経済活動の活性化との関連に着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:「現代の経済社会」について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート 振り返りシート
後期	現代日本経済と福祉の向上	日本経済の成長と課題 中小企業と農業 消費者問題 公害防止と環境保全 労働問題と労働の権利 社会保障の役割と課題	a:経済成長や中小企業、公害防止と環境保全、消費者、労働問題、社会保障に関する問題について理解している。 b: 市場経済の機能と限界に関連して消費者問題や環境保全、労働問題などに着目して、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 c:「現代日本経済と福祉の向上」について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート 振り返りシート
	国際政治の動向と課題	国際社会と国際法 国際社会の変化 国際連合と国際協力 こんにちの国際政治 人種・民族問題 軍拡競争から軍縮へ 日本の外交と国際社会での役割	a:国際社会の変遷、人権、国家主権、領土（領海、領空を含む。）などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について理解している。 b: 国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に、国際法の果たす役割、国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割に着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:「国際政治の動向と課題」について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	国際経済の動向と課題	貿易と国際収支 外国為替市場のしくみ 第二次世界大戦後の国際経済 国際経済の動向 新興国の台頭 経済のグローバル化 発展途上国の課題と展望 地球環境問題 資源エネルギー問題 経済協力と日本の役割	a：貿易の現状と意義、為替相場の変動、国民経済と国際収支、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について理解している。 b：相互依存関係が深まる国際経済の特質、国際経済において果たすことが求められる日本の役割に着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 c：「国際経済の動向と課題」について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート 振り返りシート
	現代日本における諸課題の探求	持続可能な社会の在り方 財政問題 労働問題 農業問題 福祉社会の在り方 防災と安全・安心な社会	a：財政・労働・農業・福祉など現代日本の政治・経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けている。 b：少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、地域社会の自立と政府、多様な働き方・生き方を可能にする社会、産業構造の変化と起業、歳入・歳出両面での財政健全化、食料の安定供給の確保と持続可能な農業構造の実現、防災と安全・安心な社会の実現などについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済に着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 c：「現代日本における諸課題の探求」について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

後期	国際社会における諸課題の探求	難民問題 外国人労働者問題 国際経済の格差 地域紛争･平和について 地球環境問題･エネルギー問題	a: 難民・外国人労働・経済格差・地域紛争など、現代の国際政治・経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けている。 b: グローバル化に伴う人々の生活や社会の変容、地球環境と資源・エネルギー問題、国際経済格差の是正と国際協力、イノベーションと成長市場、人種・民族問題や地域紛争の解決に向けた国際社会の取組、持続可能な国際社会づくりなどについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済に着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:「国際社会における諸課題の探求」について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度